

# 令和7年度 教育事務の点検・評価報告書 (令和6年度対象)



マンタロウ賞 西表島在住 小野 美樹  
『雨あがりの幸せ』



グールクン賞 竹富小6年 井上 理之介  
『ぼくの好きな場所』



教育長賞 小浜小4年 大城 結歩  
『みんなでジャンプ!』

海のデジタルフォトコンテスト2024  
入賞作品



タケートル賞 船浮小1年 池田 佑斗  
『うみにさく グンバイヒルガオ』



竹富町教育委員会

# 報 告 書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、令和5年度における竹富町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果を報告する。

令和7年11月

竹富町教育委員会

## ■地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## ■竹富町教育委員会で扱う事務は、おおむね次のとおりである。

- 1 町立学校等の設置及び統廃合に関すること。
- 2 学級教材、教具の整備に関すること。
- 3 町立学校等の施設、設備及び管理、備品に関すること。
- 4 教育財産の管理及び財産台帳の整備保管に関すること。
- 5 教育委員会事務局及び教育委員会の所管する職員の任免その他、人事に関すること。
- 6 文化財に関すること。
- 7 町史編集に関すること。
- 8 学齢児童、生徒、園児の就学猶予並びに転退学、その他学籍に関すること。
- 9 教科書の採択、給与事務に関すること。
- 10 町立幼稚園に関すること。
- 11 学校給食に関すること。
- 12 社会教育に関すること。
- 13 生涯学習及びスポーツの振興に関すること。
- 14 青少年の健全育成に関すること。

# 目 次

はじめに	4
教育委員会委員名簿	4
外部評価委員(学識経験者)	4
教育主要施策体系	5
教育委員会の活動	6
(1) 教育委員会の概要	6
(2) 教育委員会の会議等の状況	7
(3) 教育委員の情報収集状況	10
(4) 教育委員会事務局の組織及び職員配置	10
(5) 教育費の状況	11
令和6年度 教育事務の点検評価	12
1 点検評価対象年度	12
2 点検評価内容	12
(1) 学校教育の充実	
(2) 社会教育・スポーツの充実	
(3) 伝統文化の保存と継承	
(4) 町史編集	
(5) 教育行政の充実	
(6) 教育事務点検総合評価	
3 点検評価の方法	13
教育事務事業点検評価	14
点検評価の結果一覧表	14
・事務事業点検評価シート	16
教育事務点検総合評価	50
教育委員会の機能充実	50
学校教育の充実	50

## はじめに

竹富町教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく「竹富町の教育及び文化の振興に関する大綱」に定める、①自ら学ぶ意欲と豊かな心の育成、②潤いと生きがいのある生涯学習のまちづくり、③子育て支援などの課題への対応、④スポーツ振興、⑤伝統文化の継承発展及び文化活動の支援、⑥第3次竹富町海洋基本計画の推進、⑦世界遺産の学校教育への活用、⑧自治体DXの推進を基本目標に、また、竹富町総合計画に掲げる「島々の自然と文化を継承する(自然・文化と教育の町)」を町づくり目標として教育行政を推進しています。当該目標を推進する施策として、令和6年度に実施した各種事業の中から34事業を選定し、「今年度の点検評価を行いました。

評価の方法は、各担当課が各事業の概要等を評価シートにまとめ、教育事務点検評価委員会で内容等の点検及び内部評価を行い、その後、学識経験者で構成される外部評価委員会による各課ヒヤリングを実施し、事業ごとに外部評価を付していただきました。

評価された各事業について様々なご提言をいただいております、これらの貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の教育行政の推進に努めてまいります。

この報告書は、評価の結果と教育委員会の活動状況をまとめ、議会に提出するとともに、公表することで町民の皆様への説明責任を果たし、教育行政の質の向上を図ることを目的に作成したものです。

今後とも町民の皆様への教育行政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 竹富町教育委員会教育長及び委員

職名	氏名	任期	備考
教育長	佐事安弘	自 令和6年10月1日 至 令和9年9月30日	
委員 (教育長職務代理)	嘉良寧	自 令和5年10月1日 至 令和9年9月30日	
委員	松原史	自 令和4年10月1日 至 令和8年9月30日	
委員	川満晃弘	自 令和4年10月1日 至 令和8年9月30日	
委員	仲底傑	自 令和5年4月1日 至 令和9年3月31日	

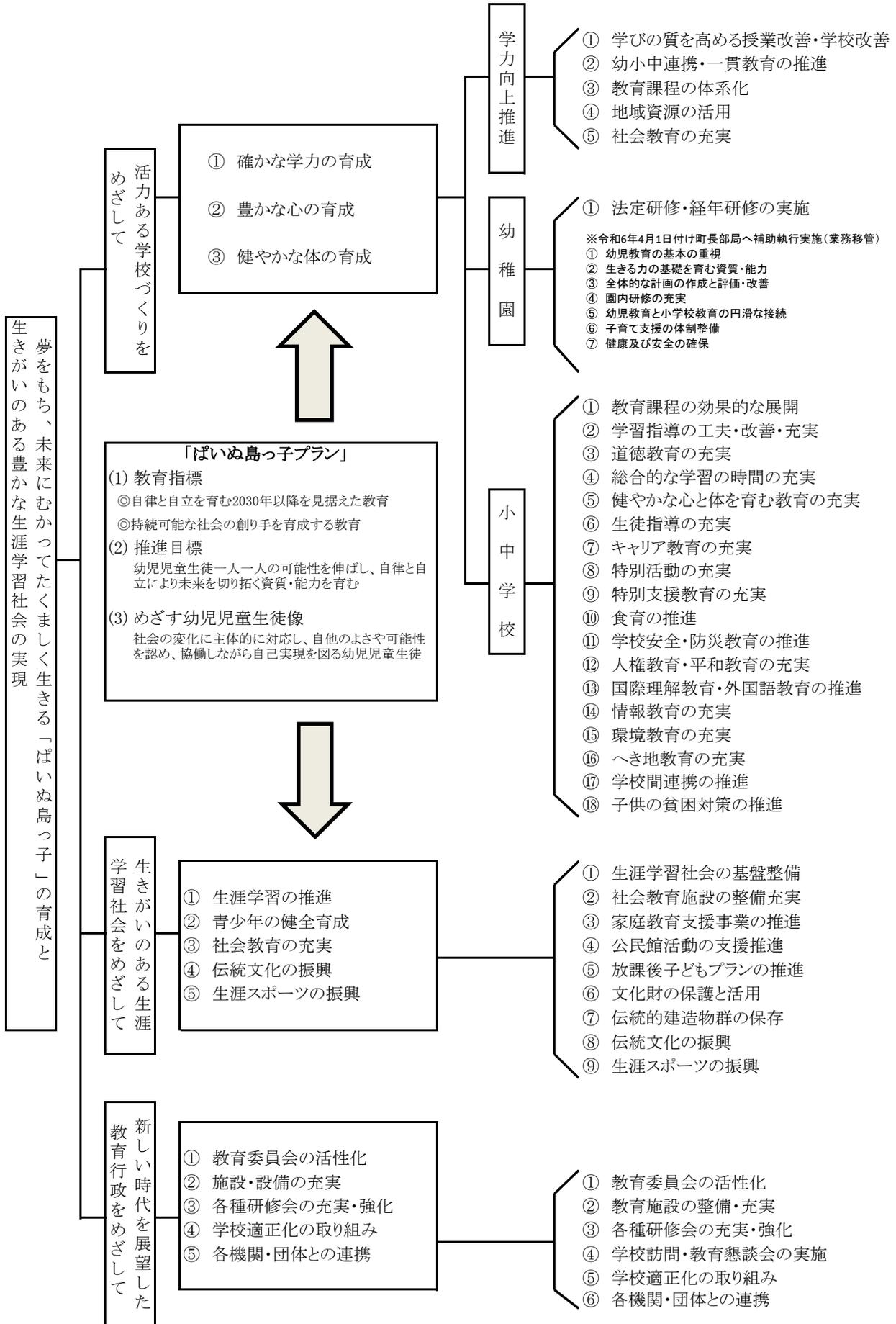
### 竹富町教育事務点検評価外部評価委員

氏名	備考
漢那ひとみ	元校長
島仲信秀	元校長

【目標】

【努力点】

【努力事項】



# 1 教育委員会の活動

## (1) 教育委員会の概要

教育委員会制度の改革により、平成27年10月1日より教育委員長と教育長を一本化した「教育長」が設置され、教育長と委員(4名)で組織する合議制の実行機関であります。

また、総合教育会議は首長と教育委員会が教育施策について協議・調整の場です。これにより、首長が教育行政に果たす責任や役割が明確になり、首長と教育委員会が協議・調整することにより、これまで以上に両者の連携が図られ、教育施策の推進が可能になります。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会の代表(会議の主宰者、具体的な事務執行責任者、事務局の指揮監督者)となり、その任期は3年となっています。

## (2) 教育委員会の会議等の状況

本町教育委員会においては、奇数月1回の定例会と随時開催の臨時会の開催と自主研修を実施し、事務局と連携しながら施策を推進してきました。

沖縄県市町村教育委員会連合会や八重山地区市町教育委員会協議会の総会・研修会等への参加については、オンライン会議等も含めて参加するなど県内各地区の教育委員と意見交換を行い研修を実施して参りました。

教育委員会定例会・臨時会においては、62件の報告・議案を審議いたしました。

総合教育会議については、令和6年10月30日に第1回を開き、①教育委員会定例会について、②小中一貫校・義務教育学校について、③海洋教育の成果と今後の取り組みについて、④その他調整・協議事項について協議・報告等を行いました。令和6年度は1度のみ開催されています。

令和6年度の会議開催、付議事件及び内容は次のとおりであります。

	開催数	付議件数
定例会	6回	55件
臨時会	2回	7件
計	8回	62件

■会議開催状況、付議内容

開催回数	開催日	番号	議案名	結果
第4回 【定例会】	令和6年 5月27日	報告第8号	臨時代理の承認について(令和6年度内示)	承認
		報告第9号	臨時代理の承認について(令和7年度使用教科用図書採択審議委員の委嘱について)	承認
		報告第10号	臨時代理の承認について(令和6年度竹富町学校三師の委嘱について)	承認
		報告第11号	臨時代理の承認について(竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業展示検討委員会の委嘱)	承認
		報告第12号	臨時代理の承認について(竹富町社会教育委員の委嘱)	承認
		報告第13号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・許可)許可第10号(西盛洋仁)	承認
		報告第14号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・許可)許可第11号(仲里一寿)	承認
		報告第15号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・許可)許可第12号(山中 誠)	承認
		報告第16号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・回答)不承認 (信用組株式会社)	承認
		報告第17号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・回答)承認 (竹富町教育長 佐事安弘)	承認
		報告第18号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・許可)許可第1号(田中耕二)	承認
		報告第19号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・回答)不承認 (三砂ちづる)	承認
		議案第8号	令和6年度竹富町一般会計補正予算(第1号)(教育委員会関係)案について	可決
第5回 【定例会】	令和6年 8月2日	報告第20号	臨時代理の承認について(竹富町立学校跡地利用検討委員会委員の委嘱について)	承認
		報告第21号	臨時代理の承認について(竹富町中学校部活動地域移行推進計画検討委員会設置要綱の制定について)	承認
		報告第22号	臨時代理の承認について(竹富町中学校部活動地域移行推進計画検討委員の委嘱について)	承認
		報告第23号	臨時代理の承認について(令和6年度竹富町海洋教育推進委員の委嘱について)	承認
		報告第24号	臨時代理の承認について(竹富町立学校評議員の委嘱について)	承認
		報告第25号	臨時代理の承認について(竹富町史編集委員会委員の委嘱について)	承認
		報告第26号	臨時代理の承認について(竹富町スポーツ推進委員の委嘱について)	承認
		報告第27号	臨時代理の承認について(竹富町新盛家住宅管理委託要綱の制定について)	承認
		報告第28号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・回答)再検討(上勢頭輝)	承認
		報告第29号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・回答)指導 (信用組株式会社)	承認
		報告第30号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・許可)許可第2号(上勢頭輝)	承認

■会議開催状況、付議内容

開催回数	開催日	番号	議案名	結果
		報告第31号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・回答)不承認 (竹富島を守る会 会長 阿佐伊拓)	承認
		報告第32号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・許可)不許可 (竹富島を守る会 会長 阿佐井拓)	承認
		報告第33号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・回答)指導 (信用組株式会社)	承認
		報告第34号	臨時代理の承認について(令和6年度内示)	承認
		議案第9号	竹富町教育事務の点検評価外部委員の委嘱について	可決
		議案第10号	令和7年度使用中学校教科用図書採択について	可決
第6回 【定例会】	令和6年 9月24日	報告第35号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・回答)指導 (久保田 実)	承認
		報告第36号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・許可)許可第3号(新田長男)	承認
		報告第37号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・許可)許可第4号(前新正貴)	承認
		報告第38号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・回答)指導 (西日本電信電話株式会社 沖縄支店長 古江健太郎)	承認
		報告第39号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・回答)指導 (沖縄電力株式会社送配電本部配電部八重山支店長 仲底洋二)	承認
		報告第40号	臨時代理の承認について(令和6年竹富町教育支援委員会委員の委嘱について)	承認
		報告第41号	臨時代理の承認について(令和6年度竹富町一般会計補正予算第3号)(教育委員会関係)について	承認
		議案第11号	竹富島景観形成地区保存条例施行規則の一部を改正する規則	可決
第7回 【定例会】	令和6年 11月26日	報告第42号	臨時代理の承認について(令和6年度学校歯科医師の委嘱について)	承認
		報告第43号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・許可)許可第3号(上間典枝)	承認
		報告第44号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保	承認
		報告第45号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・回答)指導 (ソフトバンク)	承認
		議案第12号	展示委員会の委員追加について	可決
		議案第13号	令和6年度竹富町教育事務の点検評価報告書(令和5年度対象事業)について	可決
第1回 【定例会】	令和7年 1月28日	報告第1号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・許可)許可第6号(新田長史)	承認
		報告第2号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・許可)許可第7号(高那弘子)	承認
		報告第3号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・許可)許可第8号(畠山祐希)	承認
		報告第4号	臨時代理の承認について(令和6年度竹富町一般会計補正予算(第6号)教育委員会関係	承認

■会議開催状況、付議内容

開催回数	開催日	番号	議案名	結果
第2回 【臨時会】	令和7年 2月14日	議案第1号	令和7年度県費負担管理職等人事異動発令について	可決
		議案第2号	竹富町ふるさと応援奨学金給付金条例の一部を改正する条例	可決
第3回 【臨時会】	令和7年 2月25日	報告第5号	臨時代理の承認について(令和6年度竹富町通学路安全推進会議委員の委嘱)	承認
		議案第3号	重要文化財(建造物)旧与那国家住宅指定管理申請書の提出について	可決
		議案第4号	財産の取得について	可決
		議案第5号	令和6年度竹富町一般会計補正予算(第8号)(教育委員会関係)案について	可決
		議案第6号	令和7年度竹富町一般会計予算(教育委員会関係)案について	可決
第4回 【定例会】	令和7年 3月25日	報告第6号	臨時代理の承認について(令和7年度人事異動内示)	承認
		報告第7号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・届出・指導)(沖縄電力)	承認
		報告第8号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・届出・指導)(黒潮観光)	承認
		報告第9号	臨時代理の承認について(竹富町歴史的景観形成地区保存条例の現状変更行為・届出・許可)(嶺本睦美)	承認
		議案第7号	つばさ寮宿日直手当に関する規則の制定について	可決
		議案第8号	招致外国青年就業規則(JETプログラム及びJETプログラムによらない参加者)の一部改正について	可決
		議案第9号	令和7年度県費負担管理職等人事異動発令について	可決

### (3) 教育委員の情報収集状況

教育委員会は、施設等の視察、学校支援訪問、事務局からの教育行政情報収集、専門知識収集のためオンラインをはじめ各研修会等への参加、他市町村教育委員会の情報収集及び課題解決の方向性模索のため、教育委員会連合会及び教育長協会などへの参加を通して教育関連情報の収集に努めました。

	内 容	件 数
1	課題施設等の視察	0件
2	学校等支援訪問(施設)	小中学校7、共同調理場2
3	研修会等への参加	10回 (Web:0回)
4	学校等行事への参加	入学式、卒業式、運動会、 学習発表会、その他
5	会議等への参加(教育長)	43回 (県外2、沖縄本島4、市内31、郡内0、町 内5、Web1)
6	その他 (教育委員会月報、時報市町村教委)	

### (4) 教育委員会事務局の組織及び職員配置(令和7年3月31日現在)

課名	職名	係名	人員
総務課	課長1 課長補佐1	総務係	1 (3)
		施設係	2 (1)
教育課	課長1 課長補佐1	教育係	3 (5)
社会文化課	課長1 課長補佐1	社会体育係	1 (2)
		文化財係	3 (2)
		町史編集係	2 (1)

( )は再任用、会計年度、ALT等

## (5) 教育費の状況

### ■教育費の推移

項目／年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教育費	996,212 千円	959,069 千円	951,059 千円	923,936 千円	1,006,780 千円
1人当たり教育費	236,069 円	230,490 円	226,874 円	223,119 円	245,556 円
各年度3月末人口	4,220 人	4,161 人	4,192 人	4,141 人	4,100 人

### ■令和6年度教育費の内訳

#### (歳入)

1	分担金及び負担金	190	千円
2	使用料及び手数料	4,052	千円
3	国庫支出金	6,054	千円
4	県支出金	86,803	千円
5	財産収入	15	千円
6	寄付金	300	千円
7	繰入金	9,860	千円
8	諸収入	38,515	千円
9	町債	22,400	千円

168,189

#### (歳出)

1	総務管理費	14,896	千円
2	教育総務費	181,785	千円
3	小学校費	294,602	千円
4	中学校費	129,939	千円
5	社会教育費	258,193	千円
6	保健体育費	124,611	千円
7	文教施設災害復旧費	0	千円
8	基金費	0	千円
9	沖縄振興特別推進交付金事業	2,754	千円

1,006,780

### ■令和6年度の主な事業(教育関連)

#### (1) 学校教育の充実

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1 竹富町海洋教育推進事業        | 8 小学校集団宿泊学習    |
| 2 学力向上推進             | 9 ホームステイ事業     |
| 3 竹富町内学校ICT支援員派遣事業   | 10 町外等派遣費補助事業  |
| 4 公立学校情報機器整備事業       | 11 離島高校生修学支援事業 |
| 5 鳩間島留学支援多目的施設つばさ寮運営 | 12 ふるさと応援奨学金   |
| 6 特別支援教育支援員配置事業      | 13 学校給食担当者研修会  |
| 7 外国語指導助手(ALT)派遣事業   |                |

#### (2) 社会教育・スポーツの充実

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1 放課後子ども教室委託事業     | 4 竹富町球技大会            |
| 2 生涯学習委託事業(社会教育学級) | 5 国土交通大臣杯全国離島中学生野球大会 |
| 3 社会教育団体体育成補助事業    | 6 竹富町やまねこマラソン大会      |

#### (3) 伝統文化の保存と継承

- |                            |                      |
|----------------------------|----------------------|
| 1 文化財美化保全事業                | 7 竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業 |
| 2 竹富町竹富島伝統的建造物群保存地区・保存修理事業 | 8 史跡等保存活用計画策定業務      |
| 3 主屋新築及び附属舎改築等修景補助事業       | 9 史跡等活用整備事業          |
| 4 新盛家住宅保存修理事業              | 10 町内遺跡調査            |
| 5 重要文化財旧与那国家住宅保存修理事業       | 11 第3回竹富町シママニ発表会開催補助 |
| 6 竹富町伝統的建造物群保存地区データベース化事業  | 12 第21回竹富町デンサ節大会開催補助 |
|                            | 13 竹富町民俗芸能発表会開催補助    |

#### (4) 町史編集

- 1 町史編集事業

#### (5) 教育行政の充実

- 1 学校施設等の維持管理

## 令和6年度 教育事務の点検評価

- 1 点検評価対象年度 令和6年度
- 2 点検評価内容

点検評価内容については、教育事務点検評価委員会による内部評価及び学識経験者等による外部評価とし、「学校教育の充実」、「社会教育・スポーツの充実」、「伝統文化の保存と継承」、「町史編集」、教育行政の充実、「教育事務点検総合評価」について行った。

### (1) 学校教育の充実

- 1 竹富町海洋教育推進事業
- 2 学力向上推進
- 3 竹富町内学校ICT支援員派遣事業
- 4 公立学校情報機器整備事業
- 5 鳩間島留学支援多目的施設つばさ寮運営
- 6 特別支援教育支援員配置事業
- 7 外国語指導助手(ALT)派遣事業
- 8 小学校集団宿泊学習
- 9 ホームステイ事業
- 10 町外等派遣費補助事業
- 11 離島高校生修学支援事業
- 12 ふるさと応援奨学金
- 13 学校給食担当者研修会

### (2) 社会教育・スポーツの充実

- 1 放課後子ども教室委託事業
- 2 生涯学習委託事業(社会教育学級)
- 3 社会教育団体育成補助事業
- 4 竹富町球技大会
- 5 国土交通大臣杯全国離島交流中学生野球大会
- 6 竹富町やまねこマラソン大会

### (3) 伝統文化の保存と継承

- 1 文化財美化保全事業
- 2 竹富町竹富島伝統的建造物群保存地区・保存修理事業
- 3 主屋新築及び附属舎改築等修景補助事業
- 4 新盛家住宅保存修理事業
- 5 重要文化財旧与那国家住宅保存修理事業
- 6 竹富町伝統的建造物群保存地区データベース化事業
- 7 竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業
- 8 史跡等保存活用計画策定業務
- 9 史跡等活用整備事業
- 10 町内遺跡調査
- 11 第3回竹富町シマムニ発表会開催補助
- 12 第21回竹富町デンサ節大会開催補助
- 13 竹富町民俗芸能発表会開催補助

### (4) 町史編集

- 1 町史編集事業

### (5) 教育行政の充実

- 1 学校施設等の維持管理

### (6) 教育事務点検総合評価

- ・ 教育委員会の機能充実
- ・ 学校教育の充実

### 3 点検評価の方法

評価については、事業種目ごとに点検評価シートを作成し、評価基準を設定して、複眼的視点による評価を試みた。評価における評価基準及び総合評価基準については次のとおりとする。

#### (1) 評価基準

点数	妥当性	効率性	有効性	今後の展開
4	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い。	投入コストに比べ活動量が非常に高い。	成果が非常に高い。	事業規模拡大が望まれる。
3	教育委員会が関与する妥当性が高い。	投入コストに比べ活動量が高い。	成果が高い。	事業規模の維持が望まれる。
2	教育委員会が関与する妥当性が低い。	投入コストに比べ活動量が低い。	成果が低い。	事業規模の縮小が望まれる。
1	教育委員会が関与する妥当性が非常に低い。	投入コストに比べ活動量が非常に低い。	成果が非常に低い。	廃止又は休止が望まれる。

#### (2) 点数

評価	妥当性・効率性・有効性・今後の展開の合計点
A	14点～16点
B	11点～13点
C	8点～10点
D	4点～7点

# 教育事務事業点検評価

令和6年度教育事務点検評価の結果一覧表

主要施策	事業名	担当課	内部評価	外部評価	ページ
学校教育の充実	1 竹富町海洋教育推進事業	教育課	A	A	16
	2 学力向上推進	〃	A	A	17
	3 竹富町内学校ICT支援員派遣事業	〃	A	A	18
	4 公立学校情報機器整備事業	〃	A	A	19
	5 鳩間島留学支援多目的施設つばさ寮運営	〃	B	B	20
	6 特別支援教育支援員配置事業	〃	A	A	21
	7 外国語指導助手(ALT)派遣事業 (外国青年招致事業含む)	〃	A	A	22
	8 小学校集団宿泊学習	〃	A	A	23
	9 ホームステイ事業	〃	A	A	24
	10 町外等派遣費補助事業	総務課	A	A	25
	11 離島高校生修学支援事業	〃	A	A	26
	12 ふるさと応援奨学金	〃	A	A	27
	13 学校給食担当者研修会	〃	A	A	28
社会教育・スポーツの充実	1 放課後子ども教室委託事業	社文課	A	A	29
	2 生涯学習委託事業(社会教育学級)	〃	A	A	30
	3 社会教育団体育成補助事業	〃	A	A	31
	4 竹富町球技大会	〃	A	A	32
	5 国土交通大臣杯全国離島交流中学生野球大会	〃	A	A	33
	6 竹富町やまねこマラソン大会	〃	B	A	34
伝統文化の保存と継承	1 文化財美化保全事業	〃	A	A	35
	2 竹富町竹富島伝統的建造物群保存地区・保存修理事業	〃	A	A	36
	3 主屋新築及び附属舎改築等修景補助事業	〃	A	A	37
	4 新盛家住宅保存修理事業	〃	A	A	38
	5 重要文化財旧与那国家住宅保存修理事業	〃	A	A	39
	6 竹富町伝統的建造物群保存地区データベース化事業	〃	A	A	40
	7 竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業	〃	A	A	41
	8 史跡等保存活用計画策定業務	〃	A	A	42
	9 史跡等活用整備事業	〃	A	A	43
	10 町内遺跡調査	〃	A	A	44
	11 第3回竹富町シママムニ発表会補助	〃	A	A	45
	12 第21回竹富町デンサ節大会開催補助	〃	A	A	46
	13 竹富町民俗芸能発表会開催補助	〃	A	A	47

令和6年度教育事務点検評価の結果一覧表

主要施策	事業名	担当課	内部 評価	外部 評価	ページ
町史編集	1 町史編集事業	〃	A	A	48
教育行政の充実	1 学校等施設の維持管理	総務課	A	A	49
教育事務点 検総合評価	・ 教育委員会の機能充実	-	-	A	50
	・ 学校教育の充実	-	-	A	50

# 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	竹富町海洋教育推進事業	担当課	教育課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	1,901 千円	1,759 千円	2,614 千円
事業概要	島嶼型海洋自治体である本町の児童・生徒が、海洋についての理解と関心を深め、将来にわたり海洋の恵沢を享受できるよう海洋教育を推進する。		
(1) 対 象	竹富町内小中学校		
(2) 目 的	海洋教育を通して、海と共生できる本町の地域づくりや持続可能な社会づくりに貢献できる人材を育成する。		
(3) 事業内容	本町の豊かな自然や海洋文化を活かし、各小・中学校において特色ある海洋教育を推進します。		
(4) 成果目標	令和6年度の成果目標 ①各種事業の実施 ②各校へ竹富町海洋教育推進事業補助金の交付 ③海洋教育推進委員会・海洋教育担当者協議会の開催		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> ① 月間企画として「海のデジタルフォトコンテスト」の開催を実施。また、海洋教育クリーン活動、海洋教育サミット、海洋教育カレンダー作成を実施した。 ② 一律10万円を町内12校へ補助金交付することができた。ほとんどの学校が補助金を活用していた。 ③ 海洋教育推進委員会は2回、海洋教育担当者協議会は3回開催した。 ④ 町単独事業となるが持続可能な海洋教育を推進することができた。		
	<b>【課題等】</b> ① この事業を推進するにあたり、学校の協力が必要だが、今年度、担当者が変わる度に引継ぎがうまくいっていない部分があった。引継ぎ漏れを防ぐ為に人材リストの作成等、共有がスムーズに図れるよう検討が必要。 ② 今年度はハイブリット型でサミットを開催、全児童・生徒に参加を呼びかけたが学校現場からは「小1～中3迄をひとくりにするのは厳しい」という声があり、次年度は課題として検討する。		
A			
外部評価	豊かな自然や海洋文化を活かし、各学校では地域の特性を生かした教育が推進されている。海に親しみ、海を知り、海を守り、海を活用するの4つの視点を基本とした本町の海洋教育は、SDGsを実践する人材の育成へと繋がっている。海洋教育サミットを開催することにより持続可能な海を守り生態系の保護と回復を目指す資質能力の育成が図られていると思われる。年度初めの担当者への引き継ぎを確実にすることや、補助金の有効活用で海洋教育の充実を図ってください。		
	A		

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	学力向上推進	担当課	教育課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	1,328 千円	1,176 千円	1,712 千円
事業概要	町内を9つの地区に分け、各公民館長を委員長とした地区学力向上推進委員会を設置し、学校・家庭・地域・行政が連携して、子ども達の「生きる力」を育み、将来に夢を持ち目標を立て努力し、社会の創り手となる人材育成を推進する。		
(1)対象	幼児・児童・生徒、教職員、PTA、地域		
(2)目的	学校、家庭、地域、行政が一体となって、幼児・児童・生徒一人ひとりに「生きる力」につながる「確かな学力」の向上を図る取組みを推進する。		
(3)事業内容	1.町学力向上推進委員会及び実践報告会 2.各地区学力向上推進委員会総会及び実践報告会 3.教育講演会 4.標準学力調査、中3実力テスト実施 5.学校支援訪問等での指導助言		
(4)成果目標	① 竹富町学力向上推進要項に基づき、「令和6年度版ばいぬ島っ子プラン」を推進し、9つの各推進委員会の取組充実を図る。 ② 全国学力・学習状況調査、県学力到達度調査等の結果を分析し、町内子ども達の強みを生かし、課題改善に努める。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※ 合計点数により評価		
区分	評価の説明 【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> ① 9つの各地区においては、地域の物的資源・人的資源を結びつけ、地域の実態に応じた地域総ぐるみの学力向上が推進された。 ② 学校支援訪問等において、授業についての指導助言を行うことで、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を図ることができた。 ③ 中3学力調査及び県学力到達度調査において、小学校・中学校ともにほとんどの学年・教科で県平均正答率を上回った。 ④ 町内の中学3年生全員の進路が確定した。		
	A	<b>【課題等】</b> ① 学習指導要領全面実施に向けた教育課程編成の工夫改善 ② 地域に開かれた教育課程(多様な人々とのつながりや地域・社会と結びついた授業づくりの見直し)。主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業実践の推進 ③ 自律・自立教育(自分で考え、自分で判断し、自分で行動することができる)の徹底 ④ 各地区の分析結果を共有し、次年度への確かな引き継ぎ事項とする。	
外部評価	各公民館長を中心とした地域ぐるみの学力向上の取組みが、日常的に実践され、児童生徒の学力は全国学力学習状況調査、県学力到達度調査等で県平均を上回り、高い定着率として現れている。町内の中学3年生全員の進路が確定したことも「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善の成果である。 中学卒業後、親元を離れた環境下では、取得した学力が「生活力」「生きて働く力」となることが重要である。 児童生徒の学習習熟程度や個性に合わせて学びを深めることで、個の可能性を十分に意識した学力向上の取組みが肝要である。		
	A		

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	竹富町内学校ICT支援員派遣事業	担当課	教育課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	8,196 千円	9,878 千円	9,931 千円
事業概要	学校現場において、教育ICT機器の効果的な授業活用や日常的に発生する機器の不具合等の問題に迅速に対応することが望まれており、十分な知識と対応力をもつICT支援員を町内の各小中学校へ派遣する。		
(1) 対象	竹富町内小・中学校		
(2) 目的	町内の児童・生徒の学習意欲等の向上を目指し、教育用コンピューター・大型提示装置(電子黒板)・タブレット等のICT機器を効果的に活用した授業を実現するため、竹富町内の各小・中学校及び幼稚園へICT支援員を派遣する。		
(3) 事業内容	各小・中学校へICT支援員を派遣し、以下の業務を行う。 ①ICT機器のメンテナンスや、管理・運用に関する助言 ②ICT機器に関する教員向けの研修会の実施 ③ICT機器の活用実績の集計、分析及び教育委員会への定期的な報告等		
(4) 成果目標	①各校へ月に1回以上のICT支援員派遣 ②各校における教育ICT機器の適切な管理・運用 ③情報モラルの指導・助言		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> ● ICT支援員2名を継続的に確保することで、各小・中学校への派遣回数を増やすことができた。また、GIGAスクール構想の推進に向けた教職員の資質向上のための端末利活用研修や、校務支援、業務効率化のサポート体制を強化し、ICT支援員として町内小・中学校の現場を適切な支援が図られた。		
	<b>【課題等】</b> ● ICT支援員の技術不足への研修体制及び資格取得等への支援が必須。		
A			
外部評価	「個別最適」を意識したICTの学びの活用は、個に応じた指導及び児童生徒にとっては、学習状況に合わせ、自ら学習を調整しながら学んでいく態度を身につけていくのに必要である。 情報化社会におけるICT支援員の配置は、各学校において今後さらに重要で、必要不可欠な条件である。「公立学校情報機器整備事業」と連携した取り組みで児童生徒の学びの充実を図ってください。		
A			

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	公立学校情報機器整備事業	担当課	教育課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	
	3,018 千円	11,871 千円	
事業概要	GIGAスクール構想の実現に向けて、令和2年度に町内の各小・中学校へ1人1台端末等の情報機器故障等の対応。また、耐用年数が過ぎた大型提示装置(電子黒板)再整備及び不足分の購入を行う。		
(1) 対象	竹富町内各小中学校		
(2) 目的	多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、町内の児童・生徒一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を目指す。		
(3) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGA端末の管理・整備・修理</li> <li>・電子黒板の設置</li> <li>・Webカメラ・書画カメラの設置</li> <li>・AI型教材(キュビナ)</li> </ul>		
(4) 成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGA端末の管理・整備・修理</li> <li>・各小・中学校へ電子黒板の設置</li> <li>・各小・中学校へWebカメラ・書画カメラの設置</li> </ul>		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> ① 夏休み・冬休みなどに端末持ち帰りを実施し、児童生徒の学びをある程度保障することができた。 ② 町内の小中学校へ電子黒板(PC一体型)を購入し、各学校へ配備した。 ③ AI型教材(キュビナ)を活用し、個に応じた学習が進められるようになった。学校によっては家庭学習等の活用がみられた。		
	<b>【課題等】</b> ① オンライン学習に備えて整備したモバイルWi-Fiについては、通信費の確保や家庭への貸出に関する仕組みづくりを行い、ICT機器を活用した遠隔学習が行える環境を整える必要がある。 ② 各小中学校へ電子黒板を設置しているが、以前に配備して経年劣化等の電子黒板もあり、故障が増えてきた。今後計画的な購入を検討する必要がある。		
A			
外部評価	教育現場で1人1台の端末と高速ネットワーク環境を整備し教育の質向上を目指す文科省の取り組みとして行われている。GIGA スクール構想の一環として行われる本事業は「個別最適化」された学びと協働的な学びの実現を目指し、児童生徒の将来における夢実現に生かすものとして有効な手段である。ステップ1「すぐに」「どの教科でも」「誰にでも使える」→ステップ2「教育の学びを深める」→ステップ3「課題を解決し夢の実現」の実践に「ICT支援事業」と併せて継続・安定した情報機器の整備充実を図ってください。		
A			

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	鳩間島留学支援多目的施設つばさ寮運営	担当課	教育課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	14,317 千円	15,278 千円	22,397 千円
事業概要	鳩間島留学支援多目的施設つばさ寮の運営を行う。		
(1) 対象	鳩間島留学支援多目的施設つばさ寮へ入寮する児童生徒(小4～中3)		
(2) 目的	学校の存続が危ぶまれる鳩間島において、留学を支援するつばさ寮にて留学生を受け入れ、安定的に児童生徒を確保すると共に、地域の活性化を図る。		
(3) 事業内容	①寮監の雇用(地域おこし協力隊) ②留学生の受入(定員8名) ③寮監や留学生による地域活性化(地域行事等への積極的な参加)		
(4) 成果目標	留学生の受け入れ(定員8名)		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> ① 今年度は、入寮生5名を受け入れることができ、5名無事に1年間の留学を修了することができた。令和7年度は、継続入寮が2名、新規入寮が3名あり、合計5名で入寮を迎える。 ② 寮監については、地域おこし協力隊の制度活用により3名体制で運営することができた。 ③ 地域行事へ積極的に参加し、地域と交流することができた。		
	B	<b>【課題等】</b> ① 冬場になると、船舶欠航が多くなり、食材の供給が滞ることがある。食材発注のタイミングや賞味期限が長い食材を多めに発注するなど工夫する必要がある。 ② 寮生への対応で専門家の配置が必須な状況が増えてきている。	
外部評価	豊かな自然環境の中で鳩間島留学をしている児童生徒にとって学校生活や地域行事に参加し、地域の人たちとのふれあいを通じて、心身ともに健全な成長と夢実現への機会が生まれることを期待します。 一方、寮生への対応で専門家の配置が必須である状況も増えてきている面からも年間を通した子供たちの安心安全な生活が保障されることを期待します。		
	B		

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	特別支援教育支援員配置事業	担当課	教育課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	21,915 千円	25,968 千円	13,223 千円
事業概要	町内小学校・中学校に特別な支援を必要とする児童・生徒に係る支援員を配置する。		
(1)対象	支援員の支援を要する町内の児童・生徒		
(2)目的	発達障害等により学習面や生活面に特別な支援を必要とする児童・生徒に対して特別支援教育支援員を配置し、児童生徒に応じた適切な支援を行う。		
(3)事業内容	①各小・中学校からの支援員要請を受け、概ね1日6時間、週30時間の間で、学校長の指導の下、担当教員と協力し、対象児童・生徒に学習支援を中心に学校生活上の介助等、適宜に支援を行う。		
(4)成果目標	当該児童・生徒の実態や教員のニーズに応じた配慮、支援の工夫等による学ぶ意欲や社会性の向上。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※ 合計点数により評価		
区分	評 価 の 説 明 【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> ① 特別支援教育支援員の配置により、支援が必要な児童・生徒の適切な支援が行われ、落ち着いて学習に向かうことができている。 また、各小・中学校における特別支援教育に関する教職員の意識の向上にも繋がり、子ども一人一人の教育的ニーズにあった適切な教育的支援を行うインクルーシブ教育の理解と実践が図られた。		
	A	<b>【課題等】</b> ① 例年、特別支援教育支援員の人材の確保が難しく予算を確保しても支援員配置ができない学校がある。	
外部評価	各小中学校のニーズに応じた人材の配置により、支援が必要な児童・生徒への個に応じた適切な支援が行われ学習に向かうことができるようになってきており、支援員配置事業の充実が伺える。一方人材確保において地域間格差が生じているという課題があった。 小中学校においては「個別最適な学び」の実践と併せて一人一人の教育的ニーズにあった教育の充実を期待したい。		
A			

# 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	外国語指導助手(ALT)派遣事業 (外国青年招致事業含む)	担当課	教育課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	14,451 千円	13,494 千円	19,288 千円
事業概要	町内保・幼・小・中学校にALTを派遣することにより、生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、外国語によるコミュニケーション能力の向上と国際感覚の養成を図ることを推進する。		
(1) 対象	竹富町内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の幼児、児童、生徒		
(2) 目的	海外の青年等を招致し、外国語指導助手(ALT)として町内の各小・中学校及び保育所・幼稚園で国際交流の業務と外国語教育に携わることにより国際化を推進する事業		
(3) 事業内容	1. 中学校における英語科授業の補助 2. 小学校及び幼稚園における外国語活動等の補助 3. 英語教材作成の補助及び英語能力関係事業などへの協力 4. 保育所・幼稚園・小・中学校への特別活動及び課外活動への協力		
(4) 成果目標	①町内の保・幼・小・中学校にALTを派遣し、幼児・児童・生徒に生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供する。 ②幼児・児童・生徒の外国語(英語)への興味・関心の向上を図る。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> ① 各保育所・幼稚園、小・中学校へ安定的にALTを派遣できた(船便の欠航等により派遣できない場合は、オンラインを活用した)。 ② 児童生徒へのアンケートの結果から「ALTの授業を受けて、英語が楽しいと思いますか。」の問いに対し、約9割の児童生徒が「とても楽しい」「楽しい」と回答していた。このことから、ALTの派遣により児童生徒の外国語(英語)への興味・関心が高まっていることがわかる。		
	<b>【課題等】</b> ● 児童生徒の外国語(英語)への興味・関心を更に高めるため、安定した授業の実施が重要となるため、船便欠航などで派遣できない場合は、ICT機器を活用しオンライン授業を行うなど、安定した授業を実施できるように整備する。		
A			
外部評価	令和6年度もALTの活用により約9割の児童生徒が「とても楽しい」「楽しい」と応えており当派遣事業の充実が伺える。児童生徒の英語への興味関心を高め、ALTとの異文化交流により語学力のみならずグローバル社会に対応できる人材育成にも寄与するところから、今後も、ALT派遣事業の充実を期待します。		
A			

# 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	小学校集団宿泊学習	担当課	教育課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	367 千円	335 千円	580 千円
事業概要	竹富町の児童が、自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境で、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、交流を通してよりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を行う。		
(1) 対象	竹富町内小学校5年生		
(2) 目的	① 恵まれた自然の中での集団宿泊活動を通して、見聞を広め自然に親しむ。 ② 竹富町内の小学5年生が寝食を共にすることによって、友人を増やし友情を深め合う。 ③ お互いの島の様子や竹富町の様子を知り、郷土に対する理解を深める。		
(3) 事業内容	① 集会活動(オリエンテーション、レクリエーション、班会議、平和学習) ② 体験活動(野外炊飯活動、野生動物保護センター見学、星空観察)		
(4) 成果目標	① 島外の同級生と交流を図ることにより、コミュニケーション能力を育成する。 ② 体験活動を通して、他者理解を促し、生きる力を身につけさせる。 ③ 平和学習を通して、命の尊さについて理解を深める。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> 前年度までの反省を生かし、限られた日程の中でより充実した学習となるよう工夫して実施することができた。町内各校の先生方の協力もあり、GIGA端末を活用した事前学習や、ICTを利用した各校の担任との連絡調整も充実させることができた。2日間の日程では大自然の中で、日頃できない豊かな体験活動を実施することができた。		
	A	<b>【課題等】</b> ①ICTを活用した事前の顔合わせや、事後の交流機会の創出。 ②当日朝の便で、西表東部入りできない学校の児童の対応と、波照間島への帰島ルート。 ③活動内容と時間配分の更なる工夫改善。(安全面、費用面、児童の体力面)	
外部評価	本町の子供たちは、日頃から豊かな自然環境下で学校生活を送ることができてはいる。しかし小集団故に同世代との人間関係形成能力を培う機会が極めて少ないと思われる。町内の小学校5年生が寝食を共にすることにより仲間とともに困難を乗り越える中で達成感が生まれ心身の成長が図られる。		
	A	2日間の日程で、日頃できない豊かな体験活動を実施できたことで高い教育効果が期待できる事業だと捉える。	

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	ホームステイ事業	担当課	教育課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	0 千円	1,684 千円	2,526 千円
事業概要	町内に在学する中学生を対象に、希望者を募り海外(米国カリフォルニア州ロサンゼルス 近郊)へ約3週間ホームステイを行い、異文化体験や英語の語学学習を行わせる。		
(1)対象	町内在学の中学生を対象		
(2)目的	将来の日本を担う青少年が、異文化体験を肌で感じ外国語の学習と実践を通じて、真の世界平和樹立に貢献できる人材育成と国際感覚を身に付けることを理念に海外研修を実施する。		
(3)事業内容	沖縄タイムス海外ホームステイ事業の中に組み込み、町内中学生を対象に募集を行い、面接試験を課した後、3名を23日間の日程で米国ワシントン州シアトルに派遣し、現地の受け入れファミリーの中でホームステイを行う。		
(4)成果目標	研修終了後に提出する報告書や報告会において、異文化理解や語学(英語)の学習が身につけているか。さらに、諸調査等で英語の平均正答率が伸びているかを判断する。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※ 合計点数により評価		
区分	評 価 の 説 明 【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成 果】</b> ① 米国の方の人間性を間近に触れて、迷う前にまず前に出てみるということが大切だと思った。 ② ホームステイを通して、伝えること伝わることの喜び、自分の意志をしっかりと持つこと、現地の方の温かさを学んだ。考え方が違っていても相手の住んでいるところや文化を尊重し理解しようことが大切だと思った。 ③ 他国の文化や価値観を肌で感じ取った体験を、これからの将来に生かし日本の未来を創るために精一杯頑張りたい。 ④ 日本と違う文化や習慣、仲間と協力し、コミュニケーションをとることの大切さを知った。 ⑤ 竹富町に来る外国人と話す時は、アメリカで経験したことを思い出してきちんと伝えたい。この体験をこれからの中学校生活、その先の高校生活にも生かしたい。 ⑥ 感想文を新聞に掲載したりし、報告会を通して、ホームステイの内容を多くの人に周知することができた。		
	A	<b>【課題等】</b> ① 派遣人数増員	
外部評価	海外ホームステイをすることにより、異文化体験を肌で感じ生きた英語を学ぶことで国際感覚を身につけることができる。異文化理解やコミュニケーションをとることの大切さを実感し、外国語を学ぶ意欲・興味関心につながり、真の世界平和樹立に貢献できる人材育成に期待する。本町から世界で活躍する人材育成にも期待したい。		
	A		

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	町外等派遣費補助事業	担当課	総務課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	9,198 千円	6,433 千円	7,100 千円
事業概要	竹富町の児童生徒の大会等への参加に係る派遣費について、交付要綱にもとづき補助金として交付する。		
(1) 対象	竹富町立小中学校に在籍する児童生徒		
(2) 目的	児童生徒のスポーツ等の各種大会等への派遣費を補助し、保護者の負担軽減や各種大会等での貴重な体験経験を活かした人材育成に寄与し、沖縄本島等と離島の格差是正を図る。		
(3) 事業内容	竹富町立小中学校の児童生徒の大会等への派遣にかかる経費のうち、船賃(実費)・宿泊費(上限あり)・航空賃(上限あり)を要綱にもとづき補助金として交付する。		
(4) 成果目標	町外等派遣に係る保護者負担を軽減するとともに、大会等参加により他島の児童生徒との交流や島内よりも高いレベルの競技者との試合等町内ではできない経験をすることで、子どもたちの心と体の健やかな育成を促す。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> 本事業については、継続的に実施することにより学校・団体・個人にも周知され、多数の児童生徒に活用されている。大会での上位入賞や八重山代表選抜等、子どもたちの活躍も見られる。また、派遣目的の中にはロボットコンテストや美術コンクールに係る授賞式等、様々な分野で本事業が活用されている。 また、波照間の航空運賃も補助対象として対応する等、適宜交付要綱の見直しを行い、事業の更なる充実を図った。		
	<b>【課題等】</b> ①申請に係る事務手続きが煩雑なため、オンライン化を目指す。  ②引き続き、高い満足度を維持しつつ、事業の目的に合致するものについては補助対象として対応できるよう適宜交付要綱の見直しを行い、事業の更なる充実を図る。		
A			
外部評価	本町児童生徒の島外における活躍の場の保障や個性の伸長が図られ、保護者の負担軽減にも大きく寄与している。また、他島の児童生徒との交流により高いレベルの競技者との試合等、町内ではできない体験をすることで、子供たちの心と体の健全な育成にもつながる。 児童生徒の様々な分野での活躍には、本事業の支えが大きな力となっており、成果としても表れている。補助金見直しも検討されていることから、今後の当事業の充実期待します。		
	A		

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	離島高校生修学支援事業 (離島高校寮生修学援助奨励事業)	担当課	総務課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	(修学支援) 23,650 千円	(修学支援) 22,842 千円	(修学支援) 30,004 千円
	(寮生) 5,390 千円	(寮生) 6,237 千円	(寮生) 8,800 千円
	(合計) 29,040 千円	(合計) 29,079 千円	(合計) 38,804 千円
事業概要	高等学校教育の円滑な修学にあたり、通学に要する交通費、及び居住費を助成する。		
(1) 対象	保護者が本町に住所を有し且つ在住しており、その対象となる生徒が町立中学校を卒業し高等学校に修学している者		
(2) 目的	保護者の経済的負担の軽減、教育の機会均等により地域社会に有為な人材を育てるため、通学費等の一部を補助金として交付する。		
(3) 事業内容	○修学支援： 通学に要する経費、及び居住費(アパート、下宿、寮費等) 上限額24万円を補助。(補助対象事業： 国庫1/2、県費1/4、町1/4(起債)) ○寮費： 修学支援費の上限24万円に満たない差額分を、補助金として交付する。		
(4) 成果目標	高校未設置離島における保護者の経済的負担を軽減し、教育の機会均等と地域社会に有為な人材を育成を図る。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	【成果】 年間3回の申請時期を設け、生徒1人あたり24万円(上限)を補助することで、高校未設置離島における保護者の経済的負担を軽減し、教育の機会均等が図られた。また、寮費のうち食費が対象外経費のため、離島高校生修学支援補助金の上限額に満たない差額分について、離島高校寮生修学援助奨励金交付事業で補助金として交付することで、寮生の修学を援助し奨励した。		
	A	【課題等】 町内(島内)に高校が未設置であり、石垣市内の県立3高校に設置のある学科や部活動が限られていることから、年々八重山郡外への進学も増えている。多くの高校生が寮やアパート・下宿での生活を余儀なくされるため、保護者負担を軽減し、竹富町の子どもたちに進路選択の自由と十分な学びの機会を確保する必要がある。	
外部評価	離島高校生修学支援事業と離島高校生奨励事業は保護者の経済的負担を軽減し、教育の機会均等と地域社会に有意な人材育成が図られている。 本町の生徒が島外において安心して勉学に励み自立の道を成し遂げる為にも継続した本事業の充実に期待したい。		
	A		

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	ふるさと応援奨学金	担当課	総務課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	7,100 千円	4,200 千円	3,550 千円
事業概要	将来、大学等を卒業したのち竹富町内及び竹富町役場において、専門的資格を必要とする職業(専門職員)を目指す者の修学に必要な資金を支給する。		
(1) 対象	竹富町に1年以上住所を有する者の子、または扶養にある者		
(2) 目的	将来、大学等を卒業したのち竹富町内及び竹富町役場において、専門的資格を必要とする職業(専門職員)を目指す者の修学に必要な資金を支給する。		
(3) 事業内容	奨学金を給付する期間は、正規の修業期間とし、月額50,000円とする。就職する期間については、最低、正規の修業期間の2倍の期間とする。		
(4) 成果目標	専門的資格を必要とする職業(専門職員)を目指す者の修学に必要な資金を支給することで、その人材育成を図る。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> R6年度:7名の対象者へ支給を実施した。 (対象者進学地:沖縄本島1名・県外6名) うち、1名が自主退学となったが、2名の学生が卒業した。  R7年度募集において2名の応募者があり、選考委員会により2名を奨学生として決定した。		
	<b>【課題等】</b> 持続可能な財源の確保が課題ではあるものの、基金の運用益や償還金の徴収に努め、引き続き制度の周知を図り、必要とされる学生に支給することで、本人及び保護者の経済的負担を軽減し、竹富町の将来を担う人材育成に寄与していきたい。		
A			
外部評価	費用効果が高い事業である。多くの住民に対して興味・関心が高い。さらにこの事業を多くの町民に周知していく工夫を図ることも必要である。 奨学金を給付することにより、専門的資格を必要とする職業を目指すものの修学に必要な資金を支給することにより、竹富町の将来を担う人材育成に寄与することから本事業に期待したい。		
	A		

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	学校給食担当者研修会	担当課	総務課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	242 千円	126 千円	127 千円
事業概要	食事は健康の保持・増進、疾病予防の基本であり、食事づくりに携わる者の役割は大きい。衛生管理対策の徹底等、調理員の業務の再認識及び再確認をし、より良い給食業務の推進を図る。		
(1) 対象	町内学校給食調理従事者等		
(2) 目的	学校給食調理業務に携わる職員等を対象に研修会を行い、衛生管理についての知識・技術向上と調理員間の交流及び情報共有を図る。		
(3) 事業内容	学校の夏期休業期間を利用し、沖縄県環境科学センターより講師を招き、衛生管理等についての研修会を行う。		
(4) 成果目標	調理施設における衛生管理・食中毒対策について、研修会を通して学習し知識・技術の向上を目指すとともに、調理員間の交流及び情報共有により、安心安全な給食の提供を図る。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> 毎年、給食提供のない期間を利用し、衛生管理に係る研修会を開催している。本町では単独調理場、共同調理場が数箇所あり、各調理員等の交流を行うことが難しいため、年に1度の研修会時に職員同士の親睦を深め課題や問題について相談しやすい体制づくりをおこなっている。令和6年度は、衛生管理をテーマにディスカッション形式で研修を行い、各調理場で交流を深めながら研修を開催することができた。		
	A	<b>【課題等】</b> 研修の場、情報共有の場を増やす必要があると考えるが、給食担当者(調理員)の業務のない期間内で各島の行事日程等考慮の上調整をしないとイケない(島によっては石垣に一泊する必要や備船利用が必須となる)ため、複数回の開催がむずかしい。今後は、オンライン又はハイブリット(参集+オンライン)も活用し、情報共有の場を確保する必要がある。	
外部評価	食事は健康の保持・増進、疾病予防の基本であり、学校給食においても食材の受け入れから食事の提供までの各工程における細かな記録と監視が行われ、衛生管理の透明化が図られている。校長を中心とした衛生管理がしっかりと取り組まれていることが伺われる。		
	A	本町は、単独調理校が多いため、衛生管理における研修も開催され衛生管理・食中毒対策についての知識・技術向上が図られている。今後は、オンラインまたは、ハイブリッド研修も検討されていることから食の安全確保にさらなる充実を図ってください。	

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	放課後子ども教室委託事業	担当課	社会文化課
事業費	令和5年度実績額	令和6年度実績額	令和7年度予算額
	1,229 千円	2,233 千円	2,990 千円
事業概要	放課後等に学校の施設(余裕教室・体育館等)を利用して、子どもたちが安全かつ安心して活動できる拠点を設け、地域住民の参画を得て、学習活動や様々な体験・交流活動を通して地域社会の中で、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
(1)対象	教室を委託設置した校区内の小中学生を対象		
(2)目的	放課後の子どもたちの、安全で健やかな活動場所の確保を図る。		
(3)事業内容	<p>【令和6年度実施団体名】</p> <p>①黒島小中学校(黒潮っ子放課後子ども教室)/②鳩間っ子放課後子ども教室          ③大原小・中学校(大原わくわく放課後子ども教室)/④剛柔空手道放課後子ども教室          ⑤竹富小中学校(こぼし放課後子ども教室)/⑥船浦中学校放課後子ども教室          ⑦白浜小学校(白浜放課後子ども教室)/⑧波照間ニハスケットボール放課後子ども教室          ⑨上原小学校・船浦中学校3件(住吉公民館育成会こども放課後教室・寺子屋こども放課後教室・船浦こども放課後教室)          ※国庫補助10教室</p>		
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の方々の協力を得て、学習活動、文化、スポーツ活動に取り組むことにより、子どもたちが健やかに育まれる環境づくりを推進する。</li> <li>・ 学校・家庭・地域による共同の取組により、「地域の子どもは地域で育てる」との環境及び意識の向上を図る。</li> </ul>		
【点検評価】	<p>評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価</p> <p>A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※ 合計点数により評価</p>		
区分	評 価 の 説 明 【成果・課題等】		
内部評価	<p>【成果】</p> <p>学校と地域が協力し、放課後の子どもたちの安心安全な居場所を確保するとともに、スポーツ、伝統芸能の習得、教科の予習復習等、有意義な各種活動を行えた。地域住民の方々がボランティアや各種活動の講師として参加することにより、地域との連携及びコミュニケーションが図られている。</p> <p>令和6年度は、7校(竹富地区・黒島地区・大原地区・船浦地区・上原地区地区・住吉地区・白浜地区)で実施し、それぞれの教室で子どもたちの知識や技能の向上が図られた。</p>		
	A	<p>【課題等】</p> <p>①ボランティアで運営協力していただける方や教育活動サポーター、講師等の人材確保にも引き続き努めなければならない。</p> <p>②竹富町子ども・子育て支援事業計画では、放課後の子どもの居場所づくりに対する方針について、放課後子ども教室の取り組みを充実することで、放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業)を補完することから、各地区で取り組むことができる体制を確保する必要がある。取り組みへの理解を深めるための周知方法も検討しなければならない。</p>	
外部評価	<p>本事業の推進により町内の子どもたちが安全に学習や様々な活動ができる場所が今年度は10ヶ所にまで増えていることから着実に毎年度の成果が積み上げられていることがわかる。「子どもは、家庭で躰け、学校で教え、地域で育てる」と言われている。本町においても各島々や公民館において様々な取り組みがなされ、それが学力面でも大きな成果もあげている。課題である地域人材の確保には学校・家庭・地域との連携をより密にしより地域へのアナウンスを拡充し地域の宝である子どもを大切に遅く育てていただくために力強い事業の推進を期待したい。</p>		
	A		

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	生涯学習委託事業(社会教育学級)	担当課	社会文化課
事業費	令和5年度実績額	令和6年度実績額	令和7年度予算額
	1,196 千円	755 千円	900 千円
事業概要	町民の生涯にわたる学習の機会を充実するため、委託事業者が社会教育事業を開設し、運営に必要な経費の定額を支給する。		
(1)対象	町民(町内の社会教育関係団体)		
(2)目的	青年教室・婦人学級・家庭教育学級室・成人大学講座を各種団体へ委託し、生涯学習の機会を提供する。		
(3)事業内容	<p>【令和6年度実施学級及び団体名】= 7学級</p> <p>■婦人学級=4教室・青年学級=2教室・成人大学学級=2教室・家庭教育=1教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人学級/古見、祖納、婦人会</li> <li>・青年学級/細崎。祖納青年部</li> <li>・成人学級/祖納公民館</li> <li>・家庭教育学級/黒島、波照間子ども会</li> </ul>		
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの講座及び教室終了後、地域のリーダーとして生涯学習の実践者になっていく。</li> <li>・地域において学習の成果をさらに広めていく。</li> </ul>		
【点検評価】	<p>評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価</p> <p>A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※ 合計点数により評価</p>		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<p>【成果】</p> <p>地域特性や人材を生かした計画を立案し、生涯学習の場として各年齢層が繋がりを持った活動が行え、地域の活性化も図られた。また、各教室の活動は地域の歴史や文化、伝統芸能等の習得・継承に大きく貢献できている。</p>		
	<p>【課題等】</p> <p>事業実施(計画立案を含む申請～活動運営～実績報告)について、申請手続きの簡素化等を検討し、多くの団体が本事業を活用しやすいように周知を継続的に実施しなければならない。</p>		
A	各地域で学級の取組が進んでおり今年度は全体で6団体の申請があります。(婦人4学級・青年2学級・家庭教育1学級・成人大学1学級)		
外部評価	生涯学習の場として各教室や地域活動を予算を立てて支援することにより各年齢層の交流が増え地域の活性化やその活動や取り組みによって地域の歴史や文化・伝統芸能等の習得・継承に大きく貢献できた。それにより地域リーダーの育成や生きがいのある生涯学習社会の実現にも向かっている。よって、多くの団体が活用しやすいように事業実施にかかる手続き等の簡略化を推し進めていただきたい。		
A			

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	社会教育団体育成補助事業	担当課	社会文化課
事業費	令和5年度実績額	令和6年度実績額	令和7年度予算額
	3,065 千円	3,268 千円	3,568 千円
事業概要	各種団体活動の育成及び青少年の地域活動振興及び推進の育成補助		
(1)対象	各種社会教育団体(公民館、青年会、PTA、子ども会、婦人会等)		
(2)目的	各種団体における学習機会の提供と自主的な活動を支援し、豊かな人間性と団体の資質向上を図ると共に地区の活性化を図る。		
(3)事業内容	各種団体活動の育成及び青少年の地域活動振興及び推進の育成補助		
(4)成果目標	各種団体への活動支援を目的とした育成補助を行い、団体の資質向上と指導者の育成を図り、各種団体の活性化を図る。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※ 合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> 各種団体へ活動補助金として交付することにより、創意工夫した活動が展開され、地域貢献や人材育成へ活かされた。		
	<b>【課題等】</b> 青年団協議会が新型コロナの影響のあり5年ほど活動をいていないが、地域での活動は活発なため、町の活性化のためには、青年団協議会の活動再開に向け協力をしていきたい。 各種団体の取組みについては、社会教育委員又は社会教育指導員が積極的な指導助言等を行い、活発な活動が実施できるよう環境づくりを含め継続的に支援する。		
A			
外部評	地域の基礎的集団としての公民館、青年会、婦人会、PTA、子供会等の活動をしっかり支援することで生涯学習で育まれる自己肯定感や自己実現といった個人のウェルビーイング高めるとともに学びを通して得られた仲間とのつながりや社会貢献意識により地域や社会のウェルビーイングを高めます。このように個人と社会のウェルビーイングの好循環により個人も社会にも幸せや生きがい、そして豊さをもたらしてくれるのではないのでしょうか。社会教育委員や社会教育指導員の資質向上を図る機会の充実や積極的な活用により、ウェルビーイングな竹富町が実現することを切に希望するものである。		
	A		

# 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	竹富町球技大会	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	1,500 千円	1,500 千円	2,000 千円
事業概要	お年寄りから青年層まで、気軽に参加できる競技種目を設けることにより、スポーツを通して、町民の健康増進と交流の機会を創出する。		
(1) 対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹富町に住民登録を有する者</li> <li>・アマチュア競技者</li> </ul>		
(2) 目的	町民が各種のスポーツ行事に参加できる機会を提供し、スポーツに親しみ健康と体力の増進を図り、明るく生き生きとした生活の向上と地域活性化を目指し開催する。		
(3) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトボール</li> <li>・ソフトバレーボール</li> <li>・グラウンドゴルフ</li> <li>・モルック</li> </ul>		
(4) 成果目標	大原中学校を主会場に四会場で実施し、町内の各公民館から選手及び、応援団が参加することにより、スポーツを通して町民相互の親睦を深める機会とする。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> 竹富町球技大会は、町民が各種スポーツに参加できる機会を提供し、スポーツに親しみながら健康・体力の増進を図るとともに、明るく生き生きとした生活の向上と地域活性化を目指して毎年開催している事業です。 町民が一堂に会する機会が少ない本町において、本大会は世代や地区を越えた交流を促し、スポーツを通じて相互のつながりを深める貴重な場となっています。		
	A	<b>【課題等】</b> 竹富町球技大会は成果を上げている一方、課題として次がある。 競技志向と参加型レクリエーションのバランス見直しによる裾野拡大、周知強化・移動支援などによる参加環境の整備、各離島からの海上輸送で大会時に船舶の座席・便数がひっ迫するための輸送計画と連携体制の強化、そして熱中症対策や救護体制の強化である。 これらに計画的に対応することで、誰もが安全・安心に参加できる大会運営が実現すると考える。	
外部評価	スポーツを通して、各島々からそれぞれの競技の選手が一堂に会し、町民相互の交流を深め、町民の健康と体力の増進、地域活性化を推進する事業として毎年継続されていることは望ましいことである。また、R6年度より児童・生徒を対象としたモルック競技が新たに実施され、より幅広い世代が参加できる大会として成長・変化が見て取れる。		
	A	今後は、高齢者と児童・生徒の世代間交流の推進や障害を持った人もチャレンジできる種目の検討、海上輸送の課題解決の一つとしてeスポーツの導入等に期待したい。	

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	国土交通大臣杯 全国離島交流中学生野球大会	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	2,500 千円	2,500 千円	2,500 千円
事業概要	島の未来を担う少年少女たちが野球を通して幅広い”交流”をはかり、友情を育むとともに夢と希望と勇気をもつことの大切さの実感、郷土を思う誇りと心を醸成し、島の活性化、人づくりに資する。		
(1) 対象	竹富町立中学校(代表選抜)		
(2) 目的	地理的環境から島外との交流機会の少ない全国の離島中学生が一堂に会し、野球を通じて「島」と「島」の交流を図ることにより、新たな人間形成や健全な青少年の育成を促進することで、将来を通じた離島地域の振興に寄与することを目的とする。		
(3) 事業内容	野球大会・交流試合・さよならパーティー		
(4) 成果目標	離島甲子園に出場できることに感謝の気持ちを忘れず、大好きな野球ができる喜びを感じながら、元気よく伸び伸びプレーし、離島中学生との交流の輪を広げる。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> チーム名「竹富町選抜」 本大会は、沖縄県宮古島市で開催され、本町より「大原中学校」「船浦中学校」「竹富中学校」の3校による選抜で中学生18名が参加した。 今大会で8度目の出場となり、目標の「全員野球」で1勝を勝ち取った。 試合後には、プロ野球OB会による「野球教室」や「さよならパーティー」が行われ、プロのレベルを肌で感じ、また他チームとの交流も図られ、新たな体験となり財産となった。		
	A	<b>【課題等】</b> 本町の部活動において、野球部として活動しているのは、大原中・船浦中の2校のみとなる。他離島にも野球への関心はあるが、用具・指導者・練習場所・チーム編成など環境が整わない中学校があり、参加機会の格差が生じている。 今後は、合同チームの編成支援や移動支援の確保といった取組を進め、野球環境のない学校の生徒も参加できる体制づくりが重要な課題である。	
外部評価	町の将来を担う少年少女たちがスポーツ(野球)を通して、全国の仲間と一堂に会し交流を深め友情を育み、視野を広げることは大変有意義なことである。この体験は必ずや「生きる力」としての将来への財産となることでしょう。継続的な支援と他競技への拡がりに期待したい。		
A			

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	やまねこマラソン大会	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	2,500 千円	7,840 千円	2,500 千円
事業概要	西表島特有の大自然を活かしたマラソンコースを設定し、町民をはじめ全国からのジョガーと沿道の地域住民ボランティアの応援・声援で大会を盛り上げる。また、レース後は「ふれあいパーティー」を企画し、参加者、大会関係者スタッフ、住民との交流の機会を創出する。		
(1) 対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3km(中学生男女／一般)</li> <li>・ 10km(高校生・一般 各男女)</li> <li>・ 23km(高校生・一般 各男女)</li> </ul>		
(2) 目的	日頃から健康ジョギングで体力づくりに励んでいるスポーツ愛好者を迎え、「世界自然遺産の西表島をさわやかに走ろう」を提唱し、さわやかな汗で健康と体力増進及び青少年の健全育成を図るとともに、スポーツイベントによって交流の輪を広げ、地域の活性化を図り本町のさらなる発展を目指す。		
(3) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3km(中学生男女／一般)</li> <li>・ 10km(高校生・一般 各男女)</li> <li>・ 23km(高校生・一般 各男女)</li> </ul>		
(4) 成果目標	大会開催も第30回を数え、全国的にも知名度の高い大会である。出場選手に満足してもらえるよう、コースの安全性を含め職員、地域ボランティアを動員して大会の運営にあたる。また、大会に欠かせない、ふれあいパーティーの企画も各種団体との連携により、地域活性化が図られる。また、新たな取組として、選手海上輸送および陸上輸送計画を専門業者を交え、運行管理の強化を図る。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> やまねこマラソン大会は第30回を迎え、本町を代表する一大スポーツイベントとして定着しました。 参加申込は1,054名、出場934名、完走922名で、完走率は98.7%と非常に高い成果を記録しています。 競技後のふれあいパーティも盛況で、選手に限らず子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめる交流の場となり、地域の一体感醸成に大きく寄与しました。 また、やまねこマラソン大会は土曜日開催とし、事前に町ホームページやマラソンガイド等で広く周知したことで、県内外からの参加者を呼び込み、宿泊需要の拡大につながりました。これにより、飲食・交通・小売を含む地域消費が活性化し、地域経済への波及効果に大きく寄与しました。		
	B	<b>【課題等】</b> やまねこマラソン大会は県内外から多くの参加を得ている一方、会場および宿泊施設の受入容量に限りがあり、参加枠や動線計画に制約が生じている。 冬季開催のため海況により上原航路が欠航し大原航路に振替となる場合があり、石垣島との接続や当日の移送計画で船舶・バスの手配が逼迫しやすい。 これに伴い、輸送計画と事業者との連携強化、案内・申込手続の簡便化、参加型と競技志向のバランス見直し、ボランティア体制と救護・安全対策の一層の充実が継続的な課題である。	
外部評価	スポーツを通して、健康増進、青少年健全育成、加えて、地域活性化を図る事業として定着し30回を数える大会となり、大会とふれあいパーティーはいわゆる冬季の風物となっている。多くの課題があるが官民が一体となり様々な工夫・改善を行い町内最大のスポーツイベントとして認められるところである。今後も愛される竹富町のイベントとして工夫・改善を加えながら維持していただきたい。		
	A		

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	文化財美化保全事業	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	4,141 千円	4,331 千円	4,510 千円
事業概要	指定文化財の美化・保全		
(1) 対象	竹富町内の国指定文化財、沖縄県指定文化財、竹富町指定文化財		
(2) 目的	指定文化財の利活用を図るために美化・保全を行う。本町の有する多くの文化財美化保全を推進し、本町特有の歴史文化や景観を恒久的に維持し、歴史文化財を活用し、観光資源として活用し地域の文化財保護振興を図る。		
(3) 事業内容	文化財指定地において、雑草や雑木の除去作業等の美化・保全を行い、見学者及び観光客に利用しやすい環境を整備する。		
(4) 成果目標	地域の文化財愛護の意識高揚が期待されるとともに、指定文化財等が生涯学習の場として活用されることや、来訪する観光客の満足度が高まることを期待する。指定文化財16箇所、指定候補文化財7箇所の美化保全清掃を実施する。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> 町内各地に所在する文化財の美化保全業務として、清掃を行った。 竹富島 ⇒ 小城盛、西棧橋、蔵元跡、新里村、ミーナ井戸、トゥンナ井戸、コントウ井戸 ナージ井戸、ガイセン井戸、赤山公園 西表祖納 ⇒ 大竹祖納堂儀佐屋敷跡、慶来慶田城翁屋敷跡、大平井戸、タブの老木 上村遺跡内古道、新盛家住宅、ピサダ道 鳩間 ⇒ 東井戸、西井戸、鳩間中森 黒島 ⇒ ブズマリ、伊古棧橋 波照間 ⇒ 下田原城跡、シムスケー、コート盛 新城 ⇒ タカニク、ターヌホ道、クイヌパナ、クイヌパナ道 小浜 ⇒ 大岳、カンドウラ石および節定め石、コーキ原遊歩道 西表古見 ⇒ サキシマスオウノキ群落、バギナーカー、古見の浦節歌碑		
	<b>【課題等】</b> 場所によって重機や資機材使用の必要があるため、地域と連携して作業内容の見直し・改善を図り、美化保全事業の継続に努めたい。		
A			
外部評価	文化財の美化保全は、本町の歴史と文化を後世に伝える上で重要な事業であり、本事業の持つ意義は大きい。指定文化財は経年劣化を避けられません、保全を含め美化活動は必須であり、地域の文化財を愛する心を育てる観点から意識高揚にもつながる事業とし、また、観光での活用を期待し他課との連携を図りながら町全体として計画的に実施したい。		
A			

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	竹富町竹富島伝統的建造物群保存地区・保存修理事業	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	0 千円	16,396 千円	16,361 千円
事業概要	重要伝統的建造物群の重要な構成資産である保存物件の保存修理工事		
(1) 対象	竹富町竹富島伝統的建造物群保存地区		
(2) 目的	重要伝統的建造物群保存地区内における保存物件の建造物等の保存のため、経年劣化の生じた屋根の葺き替えや板壁の補修等を実施し、伝統的建造物群の保存修復と活用につとめる。		
(3) 事業内容	屋根の葺き替えにかかる工事請負、設計委託、管理委託業務 ・西盛家フーヤ保存修理工事 ・東門家フーヤ保存修理工事		
(4) 成果目標	保存すべき建造物の保存修理を実施することにより、重要伝統的建造物群保存地区の景観とその価値を維持する。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> 竹富島伝統的建造物群保存地区の保存すべき建造物の屋根葺き替え工事を実施することにより原型に修復できた。		
	A	<b>【課題等】</b> 保存物件の保存修理工事は伝統的な木造建造物の工事になるが、その技術を持つ業者が少なくなり、業者選定に時間を要するようになっている。伝統的な技術の継承、伝統的な建材の確保も大きな課題となっている。 保存修理工事の工事費が年々上昇しており、補助金には上限が設けられていることから所有者の負担が増してきている。保存修理事業の実施を促進するためには補助金の上限の見直しが必要。	
外部評価	重要伝統的建造物群保存地区は全国106市町村129地域に、本県には竹富島と渡名喜村が選定を受けており、伝統的な建物を後世に残すうえでの重要な事業である。昭和62年に選定を受け38年もの間保存地区内の保存・修理を継続してきたことは担当課の方々の大変なご苦勞を思うと心より感謝を申し上げる次第である。		
	A	伝統的な技術保持者の確保、建材の確保、事業継続のための予算確保等課題は山積みであるが本事業継続のため全部局的対応が強く望まれる。 入島税(予定)の活用が有効かと思料する。	

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	主屋新築及び附属舎改築等修景補助事業	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	4,500 千円	3,260 千円	4,576 千円
事業概要	竹富島伝統的建造物群保存地区内の保存物件ではない建造物のうち、現状変更許可を受け、工事をおこなっている建物で、赤瓦屋根・板壁の修景を行うものに対し補助を行う。		
(1) 対象	竹富町竹富島伝統的建造物群保存地区		
(2) 目的	重要伝統的建造物群保存地区内における建造物等の保存のため、屋根の葺き替え等を実施し、伝統的建造物群の保存物件の保存修復と活用につとめる。		
(3) 事業内容	令和6年度に完了報告書の提出があった家屋に対して修景補助を行った。 ・山中家倉庫修景工事 ・田中家主屋修景工事		
(4) 成果目標	保存物件以外の建造物等の外観を修景することにより、重要伝統的建造物群保存地区の景観とその価値を維持する。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<p><b>【成果】</b> 修景事業を行う事で、重要伝統的建造物群保存地区内で違和感のない建物となり、保存地区内の景観を維持する上で重要な役目を果たしている。</p>		
	<p><b>【課題等】</b> 竹富島の集落景観を維持していくためには、保存物件以外の建築物についても外観を整える必要であり、そのために所有者に大きな負担とならないよう設けられた補助制度であるが、所有者のニーズに合わせた財源の確保が難しい。</p>		
A			
外部評価	重要伝統的建造物群保存地区内の景観を維持していくためには、対象物件以外についても外観を整えることは全体の調和の観点からも必要である。引き続き全体的な景観維持のため所有者とコミュニケーションを図りニーズや財源確保に努めていただきたい。		
	入島税(予定)の活用が有効かと思料する。		
A			

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	新盛家住宅保存修理事業	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	0 千円	9,715 千円	748 千円
事業概要	沖縄県の文化財に指定されている木造茅葺屋根の住宅である新盛家住宅において、茅葺屋根の茅の葺き替えと、併せて屋根組の腐食した木部の取替や防腐・防蟻処理を行う。		
(1) 対象	沖縄県指定有形文化財(建造物)新盛家住宅		
(2) 目的	西表島の祖納集落に所在する新盛家住宅は、伝統的な木造茅葺家屋の特徴を良く残し、沖縄県指定有形文化財(建造物)の指定を受けているが、屋根の茅に経年劣化が生じてきていることから、文化財の価値を維持するために茅葺屋根の保存修理を行う。		
(3) 事業内容	経年劣化によって茅の腐食や抜け落ちが生じていた茅葺屋根の茅の総葺き替えを行うとともに、屋根組の点検を行って腐食した木部の取替や防腐・防蟻処理を行った。		
(4) 成果目標	茅葺屋根の雨漏りを完全に防ぎ、木造の構造部分への影響を防ぐとともに、地域住民や来訪者が地域の文化を体験できる施設としての機能を整える。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<p><b>【成果】</b> 新盛家住宅は西表島の伝統的な暮らしを後世に伝える貴重な地域の遺産として大切に保存されてきた文化財であるが、経年劣化した個所について修繕を施すことにより保存状況を回復させることができた。また、より広くの観光客に利用してもらえ環境を整えることができた。</p>		
	<p><b>【課題等】</b> 今回の保存修理により本文化財の持つ価値を守ることができたが、これを維持していくためには、日頃の管理が重要で、細かく補修を重ねていくことも必要である。 屋根の茅を葺く技術者も年々少なくなっていくことから、技術の伝承にも取り組んでいかなければならない。</p>		
A			
外部評価	保存文化財の経年劣化を修復・保全することにより文化財の価値を維持することは重要である。また、観光資源としても有効活用が図られていることから保存に関して各課横断的な取り組みをすることにより技術保持者等の人材確保・育成、財源確保に務めていただきたい。		
A			

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	重要文化財旧与那国家住宅保存修理事業	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	0 千円	32,597 千円	11,200 千円
事業概要	重要文化財(建造物)旧与那国家住宅主屋の屋根漆喰塗替えと耐震診断の実施、畜舎の解体保存修理		
(1) 対象	重要文化財旧与那国家住宅		
(2) 目的	竹富島にある重要文化財(建造物)旧与那国家住宅は、保存修理から約20年が経過し、主屋の屋根漆喰にヒビや剥がれが生じていることから、塗替えと耐震診断および老朽化に伴う畜舎の解体保存修理を実施する。		
(3) 事業内容	重要文化財(建造物)旧与那国家住宅主屋の屋根漆喰塗替えと耐震診断、畜舎の解体保存修理を行った。		
(4) 成果目標	主屋及び畜舎保存修理工事を行い、重要文化財建造物を保存するとともに、安全に公開できるようにする。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> ①畜舎の解体保存修理の完了 (竹野地・土葺による伝統的な瓦の葺き直しと蟻害により傷んだ木部の修理) ②主屋屋根漆喰の塗替え完了 ③主屋耐震診断の実施 (主屋の耐震強度が不足していることがわかったため、耐震補強の方針を文化庁・沖縄県と協議した。)		
	<b>【課題等】</b> 重要文化財建造物の修理に当たって求められる耐震診断を実施したところ、主屋の構造性能が不足していることが判明した。継続事業として、R7年度に構造補強設計を行うとともに、補強工事を実施し、一般公開をしている文化財建造物の保存対策に万全を期す必要がある。		
A			
外部評価	重要文化財建造物の経年劣化による保存・修復は文化財の価値を維持することは重要である。観光資源としても有効活用が図られていることから耐震不足等への補強工事を行う等一般公開している文化財の保存に係る安全対策には万全を期す必要がある。また、保存に関して各課横断的な取り組みをすることにより人材確保、財源確保に務めていただきたい。		
A			

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	竹富町伝統的建造物群保存地区データベース化事業	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	0 千円	3,630 千円	3,307 千円
事業概要	竹富島重要伝統的建造物群保存地区内の、保存物件や史跡、埋蔵文化財等をGISデータ化し、デジタルマップ上に一元化する。		
(1) 対象	竹富町民ほか		
(2) 目的	竹富島の集落は重要伝統的建造物群保存地区として、国の選定を受けている。保存物件を含む文化財の保存活用をするにあたり、デジタルマップ上に家屋等のGISデータを一元化することで、保存修理の相談の迅速化と修理履歴のデータ蓄積を行い、保存活用の最適化を図る。		
(3) 事業内容	竹富島重要伝統的建造物群保存地区内の、保存物件や史跡、埋蔵文化財等をGISデータ化し、デジタルマップ上に一元化する。		
(4) 成果目標	竹富島重要伝統的建造物群保存地区における、保存物件や史跡、埋蔵文化財等をGISデータ化しPasCALに搭載する。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> 竹富島は重伝建地区と景観形成地区に区分されており、現状変更が許可か届出の違いがある。事業者は重伝建地区の範囲を知らない事も多いため、一元化された地図を確認することで、窓口での対応がスムーズになった。		
	<b>【課題等】</b> 伝建保存修理事業は40年近く継続されているが、建造物一件一件の修理履歴等の情報を管理する事は容易ではない。そのため、今後は過去の修理履歴をデジタル化し、データを紐づけることで、対象建造物の資料の蓄積や修理時期のお知らせが容易になり、大規模修理の前に適切な規模での保存修理ができるようになると考えられる。そのため、事業を継続して行っていく必要がある。		
A			
外部評価	文化財の保存物件や保存地区の様々なデータの蓄積を行うことにより、窓口での保存修理相談の迅速化や保存活用の最適化がおこなわれ大変有意義な事業の一つである。今後も、本事業の継続により観光資源として、また、学校教育や社会教育等様々な場面で利活用が一層促進されることが期待できる。		
	A		

# 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	4,097 千円	2,756 千円	10,175 千円
事業概要	アナログ資料のデジタル化および、わらべ歌等の収集を行う		
(1) 対象	竹富町内の文化財等		
(2) 目的	施設整備に先立ち、年長者からの方言を含む聞き取りや地域に残る文化財の調査を実施し、その結果を地域住民や国内外へ公開・発信することで、地域固有の伝統文化の伝承のほか観光客の来訪促進を図る。		
(3) 事業内容	R3年度の基本計画の提言に基づき、年長者から地域に残るわらべ歌等の聞き取り・記録調査及び映像資料のデジタル化を行った。		
(4) 成果目標	公開に向けた資料収集の完了及び、資料のデジタル化		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> ①祭事・行事を記録したカセットテープ、8ミリテープのデジタル化を行った。 ②小浜民俗資料館と大原出張所の資料室の収蔵資料について、写真撮影と台帳作成を行った。		
	A	<b>【課題等】</b> ①R6年度は竹富島内で保管されていた8ミリテープ、古見で保管されていたカセットテープ類のデジタルデータ化を行った。これらデジタル化したデータは、データベース作成の後に公開する予定である。 ②小浜島民俗資料館、大原出張所の資料室にある収蔵品について写真撮影と台帳作成を行った。今後は取得データを資料整理作業に活用し、データベース化の後にデジタル公開を行う予定である。	
外部評価	現存する画像、動画、音声等、また、収蔵品等のデジタル保存化進展していることは評価したい。町内の各島々、地域には素晴らしい有形、無形の文化財が埋もれている。島の古老たちからの聞き取りは待ったなしである。そのような無形にあたるものの保存整理を早急に取り組む必要がある。優先順位を設定して貴重な文化財のを遺していけないように取り組みを強化していただきたい。		
A			

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	史跡等保存活用計画策定業務	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	0 千円	2,804 千円	4,455 千円
事業概要	史跡「先島諸島火番盛」の保存活用計画策定を行う。		
(1) 対象	史跡「先島諸島火番盛」		
(2) 目的	広域指定されている史跡「先島諸島火番盛」の保存活用計画策定を行い、今後の史跡整備、活用のための指針とする。		
(3) 事業内容	史跡「先島諸島火番盛」の保存活用計画策定を2か年計画にて行う。		
(4) 成果目標	史跡「先島諸島火番盛」について今後の整備事業を行う際の指針となる計画を作成する。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> ①国史跡「先島諸島火番盛」保存活用計画策定(1年目)		
	<b>【課題等】</b> ①文化庁のガイドラインに沿って作成した。 1年目は全11章と内、1～5章までの作成を行った。 2年目は全章を完成させ、計画書の刊行まで行う予定である。		
A			
外部評価	本町における往時の海上渡来の歴史を残す上で火番盛りは重要な遺跡であるため、本事業における史跡保存活用計画策定が行われていることになった経緯と努力を大いに評価したい。全章を完成させ計画書の刊行まで行われる事や、今後の整備事業を行う際の指針となる事に期待します。また、それが、社会教育の一環として取り上げられ、その技術の継承を各島々に残していくことも必要かつ重要である。		
A			

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	史跡等活用整備事業	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	12,566 千円	10,956 千円	0 千円
事業概要	史跡「先島諸島火番盛」の構成資産の一つである鳩間中森についてレーザー測量を行う。		
(1) 対象	町内史跡や国指定史跡の調査及び修理、説明板設置		
(2) 目的	町内に多く残る史跡は、指定の有無に関わらず地域の成り立ちや文化を伝える貴重な地域遺産である。史跡の調査や修理を行い説明板を設置することで、後世へ継承する。		
(3) 事業内容	毀損した史跡の修理や、町史跡の調査等を行う。		
(4) 成果目標	貴重な史跡が滅失しないよう適時対応するとともに、測量等で事前に記録を残すことで不測の事態にも対応可能な資料作成する。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> ①国史跡「先島諸島火番盛」鳩間中森のレーザー測量整備計画に基づき、事業を実施した。  ②県史跡「仲間第二貝塚」標柱建替え工事 既存の標柱が劣化し傾いていたため、新たものに建て替えを行った。		
	<b>【課題等】</b> 整備計画に基づく事業を行う必要があるが、他業務との兼ね合いによりR7年度は一時休止している。		
A			
外部評価	本町における往時の海上渡来の歴史を残す上で火番盛は重要な遺跡であるため、本事業における復元・修理に継続的な努力を評価したい。史跡の調査や修理を継続して行い説明板を設置することで、後世へ継承するという強い思いが伝わる。令和7年度は一時休止しているが、今後も整備計画に基づく事業が再開できることに期待したい。		
	A		

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	町内遺跡調査	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	0 千円	19,890 千円	2,480 千円
事業概要	町内遺跡の詳細分布調査		
(1) 対象	町内遺跡		
(2) 目的	町内遺跡の有無確認とともに分布範囲の特定を行う。		
(3) 事業内容	上村遺跡、新里村遺跡、石西礁湖海底遺跡の調査		
(4) 成果目標	分布状況の確認と座標取得、写真撮影を行う。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> ①上村遺跡 祖納半島北側、東側にて古墓、構造物を確認 ②新里村遺跡 遺跡南側の部分にて新規の石積、区画の遺構を確認 ③石西礁湖海底遺跡 座礁船、航空機、遺物散布地を確認		
	<b>【課題等】</b> ①、②についてR7年度においても継続する予定であったが、予算不足や他業務との兼ね合いにより一時休止としている。 ③については事業縮小して継続する予定である。		
A			
外部評価	町内遺跡の確認とともに分布範囲の特定を行うことを目的として行われている本事業により、本町の貴重な遺跡調査が行われていることを評価したい。諸事情により計画されたことが一時休止としているが、町内の重要な遺跡調査が今後、引き続き行われることを期待したい。また、町内における貴重な遺産を後世にも残していくため、先を見据えた遺跡調査の継続に関わる予算確保にも当たってほしい。		
A			

# 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	第3回竹富町シمامニ発表会補助	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	0 千円	295 千円	378 千円
事業概要	黒島公民館にて第3回シمامニ発表会を開催する。		
(1) 対象	竹富町民ほか		
(2) 目的	竹富町は島々・地域により方言が異なるが、生活様式の変化や移住者の増加に伴い、竹富町内各地区に残る島言葉(シمامニ)は消滅の危機に瀕している。この貴重な文化遺産であるシمامニを保存継承するとともに、シمامニを通して島々における違いを認め合い、歴史・文化に対する興味を深めることを目的とし、10回を目途に冊子を作成し、シمامニの保存を図る。		
(3) 事業内容	各地区で話されているシمامニを披露する発表会を開催し、保存継承を行う。その模様はLiveで配信する。		
(4) 成果目標	黒島公民館にて第3回シمامニ発表会を開催する。Live配信を行い、会場へ足を運ぶことが難しい方々も視聴できるようにする。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明 【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> 竹富島・黒島・古見の3集落から応募があり発表を行った。		
	<b>【課題等】</b> 地域行事と日程が重なり、参加者が少なかったが、Live配信を行うことで多くの人に観て頂く事が出来た。参加した竹富小学校・古見公民館はシمامニでの劇に取組み、黒島小学校は二人で会話をする形式での発表であった。今後も継続的に実施することで、シمامニの継承が、地域の文化・祭祀・芸能を後世に繋いでいく土台になることが期待される。		
A			
外部評価	シمامニは、地域の伝統行事や年中行事で使われる大切な言葉である。また、シمامニを学ぶことは私達の住んでいる地域を知る上でも重要である。 竹富町内各地区に残るシمامニが消滅の危機に瀕していることから貴重な文化遺産であることシمامニを保存・継承していく方法を各島々及び竹富町全体による連携強化した取り組みで課題解決を期待したい。		
	A		

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	第21回竹富町デンサ節大会開催補助	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	1,600 千円	1,600 千円	1,600 千円
事業概要	竹富町民俗芸能連合保存会が主催する第21回竹富町デンサ節大会の開催を補助する。		
(1) 対象	竹富町民ほか		
(2) 目的	「デンサ節」の心を後世に正しく継承発展させると共に、文化の息づく町づくりと地域の活性化を図る目的で、竹富町民俗芸能連合保存会が主催する第21回竹富町デンサ節大会について、補助を行う。		
(3) 事業内容	第21回デンサ節大会を実施し、Live配信を行い、会場へ足を運べない方々も、自宅等で視聴することができる機会を設ける。		
(4) 成果目標	竹富町が誇る文化遺産としてのデンサ節を発祥の地、上原で、デンサ節を正しく継承・普及する		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> 竹富町が誇る文化遺産としてのデンサ節を発祥の地、上原で、デンサ節を正しく継承・普及するという目的を達することができたと思う。Live配信は、大会後もYouTubeで視聴することができ、R7年9月末時点で4200超の視聴があった。		
	<b>【課題等】</b> 大会の順位に関わらず、其々の思いを込めた謡を聴く事ができるのも本大会の醍醐味であり、今後も継続した開催を支援して行きたい。		
A			
外部評価	デンサー節は、西表島上原が発祥の地であり、教訓歌として人生の指針となる大切な教えが歌い継がれており、後世に残しておきたい竹富町が誇る文化遺産です。竹富町民族連合会が主催する「デンサー節大会」の開催や歌詞の持つ深い意味も含めて後世に残していきたい大変貴重な文化遺産であることから、今後の取り組みにも期待したい。		
A			

# 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	竹富町民俗芸能発表会開催補助	担当課	社会文化課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	0 千円	900 千円	0 千円
事業概要	竹富町民俗芸能連合保存会が主催する竹富町民俗芸能発表会の開催を補助する。		
(1) 対象	竹富町民等		
(2) 目的	竹富町民俗芸能連合保存会が主催し、わいわいホールで開催する竹富町民俗芸能発表会の開催を補助する。		
(3) 事業内容	竹富町民俗芸能発表会は隔年で開催しており、今回は初めてLive配信を行った。子どもたちによる発表もあり、保存と継承の取組みが示された		
(4) 成果目標	各島々に残る伝統芸能のうち、主に舞踊等について発表し次世代へ正しく芸能の継承を行う。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> 竹富町内11の民俗芸能保存会から8保存会のほか、新たに取り組みである継承育成の部として、西表青年会・黒島小学校・上原小学校・祖納子供会の発表があった。		
	A	<b>【課題等】</b> 各島々で継承者が少ないことが課題となっているが、継承が難しい地区が出てきている。その一方で、地域の子供たちが継承する機会を設けている地区もあり、大人だけではなく子供の部を設けてはどうかなど、継承について活発な意見交換があった。各島の保存会同士交流を深め、課題を共有し、芸能を継承していくことの難しさと大切さを実感した大会となった。 また、学校の取組として2校が発表を行った。伝統芸能に興味・理解がある先生がいる場合は地域の協力を得て積極的に取り組んでもらえるが、異動した場合は継続されない事が多いので、継続する方法を検討する必要がある。	
外部評価	先人が築き上げてきた本町の民俗芸能には、本町の歴史・文化を知る上で大変貴重である。課題として挙げられている継承者を育成するために様々な取り組みがなされていることを評価したい。 今後は地域全体で民俗芸能に興味関心を持てるような機会や場の設定及び保存・継承する方法と今後の取組みに期待したい。		
A			

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	町史編集事業	担当課	社会文化課
事業費	令和5年度実績額	令和6年度実績額	令和7年度予算額
	2,564 千円	10,942 千円	9,850 千円
事業概要	『竹富町史 第八巻 西表島』〈上巻〉、『竹富町史だより 合冊1』、『竹富町史だより』〈第54号〉〈第55号〉発刊		
(1)対象	竹富町民、一般人、研究者		
(2)目的	竹富町の先人たちが築いてきた特色ある町の歴史や自然を島々の個性を際立たせて位置付けながら、編集・発刊を行うこと。それにより町民一人ひとりのみならず、竹富町の先人の顔を思い浮かべることができる親しみやすいものとする。これらが竹富町のかげがえのない共有財産として後世に引き継がれ、豊かな町(島)づくり、人づくりに資することを目的とする。		
(3)事業内容	竹富町史刊行物の編集・発刊		
(4)成果目標	地域を知るための基礎資料として活用され、かつ学術的にも信頼される町史編集事業		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※ 合計点数により評価		
区分	評 価 の 説 明 【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> 『竹富町史だより』は町民を対象とした機関誌である。町内全戸に配布し多くの方々の手に渡ると同時に、広く町史編集事業をアピールできた。〈第54号〉〈第55号〉と計画どおり刊行することができた。とりわけ〈第55号〉については、地元新聞紙上で、八重山圏域内外から良い評価が得られた。また、〈第1号〉から〈第18号〉までの『合冊本』をつくることによって、『竹富町史だより』の資料性・利便性を高めることができた。その他、待望の『竹富町史 第八巻 西表島』を発刊した。西表島の自然、歴史、文化が総覧できる資料として反響が大きく、書店での売り上げも良好である。		
	A	<b>【課題等】</b> 基礎資料を整えると同時に、「島じま編」の編集・発刊を進めていくにあたって、スケジュール管理が大きな課題である。	
外部評価	『竹富町史 第八巻 西表島』の発刊おめでとうございます。多くの困難を乗り越えての発刊に心から敬意を表します。『竹富町史だより』の全戸配布により多くの町民が竹富町の歴史を広く感じることができたことは大変意義深いことである。町民にとって貴重な財産として編集・発刊に努めている担当課の皆さんに敬意を表するとともに、今後も、幅広く島々の歴史の掘り起こし、調査、研究に期待したい。		
A			

## 事務事業点検評価シート

竹富町教育委員会

事業名	学校施設等の維持管理	担当課	総務課
事業費	R5年度実績額	R6年度実績額	R7年度予算額
	57,277 千円	66,530 千円	17,610 千円
事業概要	学校施設の維持管理に係る修繕及び点検		
(1) 対象	竹富町立小中学校・(交流センター)・共同調理場・教員宿舎		
(2) 目的	学校施設等の中には、経年劣化や自然災害等によって児童生徒の安全・安心が失われる恐れがあるため、修理や修繕等の整備を行い学校環境の安全・安心を図る。		
(3) 事業内容	学校施設等の現況を調査し、破損、腐食箇所を修繕し、安心安全な学校環境の維持・管理。		
(4) 成果目標	年次的に学校施設等の修理や修繕等を行い、快適で安全・安心な学校環境の整備を進める。		
【点検評価】	評価凡例 妥当性・効率性・有効性・今後の展開、それぞれ1点～4点で評価 A 14～16点 B 11～13点 C 8～10点 D 4～7点 ※合計点数により評価		
区分	評価の説明【成果・課題等】		
内部評価	<b>【成果】</b> 1. 令和6年度においては、小中学校(交流センター)・共同調理場・教員宿舎等、緊急性の高いものを優先し修理・修繕を実施した。 2. 各学校(特別支援学級を含む)空調機の故障は暑さにより子供たちの体調不良を招く事態になるので緊急的な対応をとれるよう関係機関と連携を図り迅速に対応した。 3. 竹富小中学校校舎の修繕では、外壁天井よりコンクリート片の落下が多数見られたので落下する恐れのあるコンクリート片をすべて除去した。 4. 西表小中学校校舎ピロティの柱に亀裂があり危険な状態であったため亀裂のある柱を炭素繊維で柱を取り巻き補強をし危険を除去した。		
	A	<b>【課題等】</b> 1. 本町の学校施設は老朽化が進んでいるものが多数あり、また設置年度も重複しているものが多数見受けられる。修繕に対し予算の平準化を図り計画的に修繕をしていくための計画を策定する必要がある。 2. 施設耐力度調査を実施し危険度の高い建物を優先的に長寿命化や建て替えに向けて取り組む必要性もある 3. 学校や教員宿舎の建て替えや大規模修繕に関しては個別施設計画を立て優先順位をつけて取り組む必要がある。	
外部評価	子どもたちが安心安全に学校生活を送るためには、学校施設の安全性の確保は一丁目一番地で待ったなしである。学校からの安全点検結果による施設修繕要望に対して長期的な事業計画の策定と予算確保に全力で努めていただきたい。		
A			

## 令和6年度 教育事務点検総合評価

### ■教育委員会の機能充実

総合評価	[ A ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育環境を取り巻く環境は、核家族化、デジタル化、グローバル化等により急速に変化する中、本町教育行政についてはあらゆる分野から補助金を活用し、児童生徒への充実した教育環境整備に様々な取り組みがなされていることを高く評価する。</li> <li>・学校教育は、子ども達が将来を生き抜くための「生きる力」を育むために「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指してください。また、社会教育に課された課題解決のために、教育委員会と町長との効果的な連携のあり方、「総合教育会議のあり方」「関係する町長部局等との連携促進」が最重要ですので、教育委員は地域・学校現場の声を教育行政に反映し積極的な意見を述べて頂き、教育長を中心とし、職員一同で教育行政に取り組んで頂きたい。</li> </ul>	
1	教育委員会の概要	[ A ]	<p>本町の教育に関する基本方針の決定、学校の管理、教育行政の執行と管理、生涯学習の推進等々多岐に渡っている。教育委員会の機能強化、活性化のため教育長を中心に教育委員の皆さんでしっかり議論をし、事務局の職員が教育施策を展開できていることはとても重要である。また、教育委員会と町長との協議、調整の「総合教育会議」を引き続き開催し町長部局との連携に取り組んで頂きたい。</p>
2	教育委員会の概要と会議の状況	[ A ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会、臨時会の開催と自主研修を実施し、事務局と連携し施策の推進は適正である。</li> <li>・総合会議を1回開き教育委員会定例会等、他3つの協議報告を実施している。今後はオンライン会議も含め、県内各地区の教育委員と意見交換の充実を図り本町の教育の発展のための努力を評価したい。</li> <li>・児童、生徒に関わる給付金・支援員・給食等の事案については、引き続き取り組んでいただきたい。</li> <li>・緊急を要する事案等に関しては、迅速に会議が開催されるよう準備をして頂きたい。</li> <li>・次年度も「総合教育会議」を開催し町長との協議・調整に努めて欲しい。</li> </ul>
3	教育委員会の情報収集状況	[ A ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会は、施設等の視察、学校支援訪問、事務局からの教育行政情報収集や専門知識収集のためオンライン研修、その他の研修会への参加、課題解決のための教育委員会連合会、教育町協会などへ参加をしている。組織及び職員配置に関しては、町長部局との調整の中、効率的に機能していると考ええる。</li> </ul>
4	教育委員会事務局の組織及び職員配置	[ A ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会(奇数月)、臨時会(随時)の開催については、適正と判断する。</li> <li>・会議内容については、多数報告事案が占めていますが、特に条例、規則等の一部改正は、計画的に議案として委員会での審議を望みます。</li> <li>・児童、生徒に関わる給付金・支援員・給食等の事案については、引き続き取り組んで頂き、委員会として教職員の働き方改革についても国、県、学校現場と連携し竹富町らしい働き方改革を委員会でも取り組んで頂きたい。</li> <li>・次年度も「総合教育会議」を開催し町長との協議・調整に努めて欲しい。</li> </ul>
5	教育行政	[ A ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の学校教育、社会教育等の関係事務が確実に実行されていることを評価したい。</li> <li>・教育費の歳出は、適正に処理されていると確認する。町全体の財政状況が厳しい事は理解するが、特に学校の施設は、安全性・緊急性を基に優先順位を付け、今後も真摯に対応して頂きたい。特に老朽化が進んでいる施設、災害に強い機能強化施設に関して長期的な計画策定に向けて取り組んで頂きたい。</li> </ul>

### ■学校教育の充実

総合評価	[ A ]	<p>各公民館長を中心とした地域ぐるみの学力向上の取り組みが、日常的に実践され、児童生徒の学力は全国学力学習状況調査、県学力到達度調査等で県平均を上回り、高い定着率として表れている。町内の中学3年生全員の進路が確定したことも「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善の成果である。</p> <p>中学卒業後、親元を離れた環境下においても自分らしく、たくましく生きていける人材の育成につなげるために、これまで以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、さらに「主体的・対話的な深い学び」の実現のに向けた授業改善の取り組みを一層進めてください。</p> <p>児童生徒の学習習熟程度や個性に合わせて学びを深めることで、個の可能性を十分に意識した学力向上の取り組みが肝要である。</p> <p>子ども達の豊かな学校生活を保障するための学校給食については保護者の負担軽減と財源確保の継続に期待します。</p>
------	-------	--